

聖ヨハネ学園

# 後援会 だより

48



2023年度新規採用者の皆さんと

発行：聖ヨハネ学園後援会  
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1  
TEL&FAX 072-687-0548

## 「愛を以って」



大阪聖三一教会信徒  
大阪教区連合  
男子会 会長  
**寒河江 研司**

「キリストの愛を以って互いに仕える」これは、ある施設が掲げておられる使命の一部分です。この言葉を基本として、すべての人が、尊重され、尊厳をもって生きることができるよう、あらゆる努力を継続して支えるという使命です。私は、この言葉を目にしたとき、あらためて福祉の施設に従事される方々の想いに敬服いたしました。施設で接する方、お一人お一人の命に向き合い、その方を尊重し、尊厳をもって生活できるようにサポートするのです。そうできるような、あらゆる努力をしつづけるのです。この素晴らしい使命に感動を憶えると同時に、重さも感じます。私に置き換えてみると、接する人の命を大切に思い、

尊重できているでしょうか。私も多くの人と同じように、自身の親が年老いて、難病を患い、介護が必要な環境におかれる年齢になりました。動作が鈍くなつて、記憶力も低下してしまつた親と接するとき、時にはイライラしてしまつたりします。その状態を受け入れることもできず、尊重もできず、尊厳をもって生活してもらえるようにサポートできていません。それでもあらゆる努力を継続して支えるというのです。本当に難しい事です。でも、この使命にある「キリストの愛を以って」という言葉に救われます。もちろん、この言葉が示すところは、イエス様が愛されたように愛をもって接して支えるということでしょう。

う。しかし、「キリストの愛を以って」という「以って」は、愛によって、愛を通してという風にも考えられます。ということは、神様に助けを請うと必ずそこに神様の力が加わるという事です。私たちが求めるとき、そこに神様が共にいてくださるのでしよう。その事に気付くと平安が与えられます。ある牧師様が仰っていた事を思い出します。「どうしても許せない、受け入れたくない人と接するとき、その人との間にイエス様のお姿を想いかべてみてください。」私は、人との関係で苦しむ時これを実践するようにしています。それで平安が与えられ、受け入れる事ができ、とてつもない喜びとかがやきの時を与えられる事もあります。「子供たちががやくために」「障害のある人ががやくために」「高齢者ががやくために」「これらを実現し続けるために、そこに仕える方々が平安をもつてかがやく事ができますようにお祈りしたいと思います。」



## 今年度の進路について



卒園式の記念写真

今年度は4名の子ども達が学園を巣立っていきました。卒業後の進路ですが、F・S君は「小出美容専門学校」、N・Rさんは「大阪保健福祉専門学校」、T・Mさんは「放送芸術専門学校」、S・Hさんは「SGムービング株式会社」です。今年度は、4名中3名が進学で進学率は75%と過去最高の結果となっています。

また、土曜会奨学金の給付状況ですが、大学1名、短大1名、専門学校4名で合計6名に一四〇万円を支給しています。

最近では給付型の奨学金や土曜会奨学金等のお陰で学校に支障がない程度のアルバイトで、貸付の奨学金を遣わなくてもいいので、進学を希望する子ども達も徐々に増え、毎年少なくとも1名は進学するようになりました。ここ6年間の進学率は、46%で、全国の施設平均の約2倍の数値になっています。5年前に退学者が数名いたこともありましたが、最近では担当職員のフォローもあり、退学者はおらず、今年も2名が大学を卒業し、内1名は障がい者施設に正職員として働いています。

一方、卒業後数か月で退職し、安定した生活が難しい卒業生もいるので、アフターケアに関しては、また

まだ課題も多いのも現状です。進学を希望する子ども達が増えてきた要因は土曜会奨学金を含め奨学金の充実と進学する体制、雰囲気などが定着したことだと思います。土曜会奨学金の財源は後援会や学園への寄付金で、多くの方々の温かいご支援

の賜物と心より感謝しております。子ども達の夢を実現するために今後も一人でも多くご支援をいただけるように土曜会奨学金の周知活動を行なっていきますので、これからもご支援を宜しくお願いいたします。

## ミス・ブール墓前礼拝

2023年4月1日、とてもよいお天気のなか、桜も満開の服部霊園外人墓地にて、社会福祉法人聖ヨハ

ネ学園の創始者である「リーラ・ブール宣教師」の墓前礼拝を、テヤブレンの韓司祭が司式のもと、法人や施設の関係者、聖ヨハネ教会や高槻聖マリヤ教会の方々が集まりおこなわれました。韓司祭よりリーラ・ブール宣教師は1924年3月20日に天に召されて、今年で99回目の墓前礼拝とのこと。新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきているなか、来年は100回目の記念となる墓前礼拝となりますよう、今から準備を進めていきたいと思



墓前礼拝

又、4月2日の大阪教区の磯主教様のメッセー

ジに、左記のような内容が書かれていました。(一部抜粋。全文は大阪教区のホームページに掲載)

『先日聖ヨハネ学園で、新入職員の皆様、聖ヨハネ学園の創始者ミス・リーラ・ブール宣教師についてお話をする機会を与えられました。彼女にふさわしい聖書のことは、フィリピの信徒への手紙 4・13

「わたしを強めてくださる方のお蔭で、わたしはすべてが可能です。」彼女の歩まれた道を、辿ってみると、本日の福音書の主イエスに倣って、すべてを神さまにお委ねして、神さまと人々に仕えたブール宣教師であったことを知らされたわけです。ブール宣教師は、婦人たちと祈り、この地に教会を与えたまえと祈られた。

この祈りの中から、救児院が設立されていく。道修町に設立。これが聖ヨハネ学園の前身となります。教会は大阪聖ヨハネ教会(現在、中央区糸屋町)として、救児院は聖ヨハネ学園として続いて、今に至っています。』と。



# 本部および各施設に

## ご協力いただいた方々

〔敬称略〕

※複数回寄附して頂くこともあり件数は延べ数で記載しています  
 (期間二〇二二年四月一日〜二〇二三年三月三十一日)

### 《本部》

赤山 英雄

阿佐建築工務株式会社

上村サト子 大橋 一

芳我 秀一 影山 章子

加藤 道三 北川 勝

古谷 美子 齊藤 豊

佐々木晶子 笹部 哲生

田尻 忠邦

東洋英和女学院中高部

ニコデザイン 富澤 実

仁科労働衛生

コンサルタント事務所  
 仁科 昌久

西野 陽一 西原 裕之

日本キリスト教会

西宮中央教会

日本聖公会東京教区

聖パウロ教会

野知 卓司・千秋

梅花幼稚園

プール学院中学校・高等学校

松尾 正実

水貝商店

四葉幼稚園園長

廣田 尚美

淀川食品株式会社

三千八件 一〇九三、〇〇〇円

### 《聖ヨハネ学園》

白川 明

大阪電業協会

有限会社フリーマーケット  
 123

株式会社万代

公益財団法人 匠・育英会

高槻市歳末たすけあい

運動実行委員会

大阪府社会福祉部

子ども家庭局(福田金属)

大阪府經由

七件 一、四六、三〇〇円

### 《聖ヨハネ学園土曜会奨学金》

白川 明 西原 裕之

石田 美郎 福永茅久美

東 敏勝・直子

井上 眞也・美津

裕 俊彦 高橋 興史

影山 章子 田尻 忠邦

関口 尚正 宮脇 弘次

坂口 鳩子 利田美由紀

鶴飼 良哉 香西 美抄

松平 功・恵津子

本井 栄子

井上 眞也・美津

森中 央 齊藤 豊

加藤 進 松崎千恵子

森本 知子

阪本 帰蓮(久美子)

前田 享子・昌子・典子

高橋 昇三 北原 昌則

和田 ミツ 楠本 悦雄

大岡左代子 阿部 優里

株式会社三八

株式会社38エステート

株式会社オーミヤ

株式会社フロリスト花正

高槻市ひとり親家庭福祉会

大阪キリスト教短期大学

株式会社ハイライン

アローム清水店

株式会社ガハハ

平安女学院大学

学生・職員有志

四十二件 一、八九〇、五〇〇円

### 《下部保育園》

西原 裕之 影山 章子

田尻 忠邦 三木 弘子

全国社会福祉法人

経営者協議会

五件 九〇、五〇〇円

### 《ミス・プール記念ホーム》

東 敏勝・直子

池下 信子 井上美知子

岩尾久美子 王子 康三

大段紀代子 岡 ヤヨイ

奥田 惣八 影山 章子

北出 澄子 坂戸 邦夫

坂本 知代 新名千代子

竹淵 久子 田尻 忠邦

田淵 稔 近森 信人

寺本奈尾子 富田美智代

名出 敬 西池 フミ

西原 裕之

長谷川加代子

原 郁子 福永茅久美

細川 信子 松尾 誠

松本加代子 松山 幸子

真庭 功 丸岡治三郎

牟田 倫文

四十二件 八九七、五〇〇円

### 《地域生活支援センター光》

浅田 直紀 安達 圭司

安達 哲呂

東 敏勝・直子

江畑 節子 江畑 誠

大田 順子 表 和彦

大橋内科

影山 章子 黒川早智子

楠本 悦雄 小林 法司

笹倉 健志 笹倉 文子

清水 幸子 副島 克彦

副島 康子 高谷 秀夫

高見澤 裕 瀧本 鳥子

田尻 忠邦

近森歯科西武診療所

近森 信人

土井 智仁 土井 茂

中村 健

馬場 浩昭 西原 裕之

久永 恵子 平井 幸子

正宗 良則 文城 誠

三島麻美子 三崎 智美

松浦 祥子 松下 一郎

柳澤 好輝 宮脇 敏

吉村 花枝 山尾 則夫

米満 司郎 吉村 一哉

四十一件 三、〇九五、八五〇円

### 《聖ヨハネ子どもセンター》

米満 司郎 西原 裕之

石田 美郎 柳澤 好輝

海野 晴男 田尻 忠邦

影山 章子 松崎千恵子

高野 節子

東 敏勝・直子

西原 裕之 米満 司郎

田尻 忠邦 三木 弘子

岡本 康子 北原 昌則

長崎南山高等学校

高野 節子

十八件 一一二、五〇〇円

### ☆聖ヨハネ学園土曜会奨学金制度とは…

1963年立教大学BSA(聖アンデレ同胞会)第2支部の皆様が土曜会という活動を通して高校進学、特に私学に進学する際の授業料負担に対して奨学金を継続してご支援いただいております。2010年に土曜会の活動を発展的に解消され、その際、学園に対して500万円を寄附していただきました。みなさまのご意志を「土曜会奨学金基金」として学園の子どもたちの進学奨励金制度として発足しました。学園後援会からも賛同を得て、2012年度から年間30万円を基金に拠出していただいております。ここに寄附いただきましたみなさまに感謝とお礼を申し上げます。今後ともたちへのご支援をよろしくお願いいたします。



# 後援会にご協力いただいた方々

〔敬称略〕

※複数回寄附して頂くこともあり件数は延べ数で記載しています  
 (期間二〇二二年四月一日～二〇二三年三月三十一日)

相原 吉男 秋山 公子  
 東 敏勝・直子  
 安達 哲呂 尼子 美喜  
 石田 美郎 伊勢田 健  
 井上 恵美子  
 井上 眞也・美津  
 井之上 芳雄  
 岩田 幼稚園 上田 孝徳  
 上田 和徳 上田 美和  
 上田 浩子 上田 美和  
 上村 みちえ 海野 晴男  
 江和 社会保険労務士事務所  
 大阪 保育福祉専門学校  
 大洲 幼稚園 大山 秩子  
 大西 修 岡部 美枝  
 尾形 優子 小野 光雄  
 岡本 康子 片山 富美子  
 影山 章子 藤 幼稚園  
 学校法人 藤学園 藤 幼稚園  
 門 淳子 金本 和美  
 株式会社 橋本 工務店  
 木島 出 北川 勝  
 北出 澄子 金 吉良  
 暁星 小学校 シャミナード会  
 久保 孝彦 久保 義道  
 黒田 益弘 剣持 寛人  
 小泉 正子 古賀 靖浩  
 小林 聡 小林 茂子  
 小牟田 健三郎  
 齊藤 壹 齊藤 豊  
 坂口 鳩子 坂本 知代

桜井 揚子 笹野 美子  
 佐藤 耕一 佐藤 多紀子  
 佐藤 勇治 佐藤 多紀子  
 佐藤 信雄・千恵美  
 佐野 信三  
 司法書士 長谷川 輝男  
 宗教法人 芦屋キリスト教会  
 上甲 幸子 上甲 純司  
 鈴木 満紀子・慰  
 鈴木 靖夫 住友 厚司  
 聖バルナバ病院 礼拝堂  
 聖ミカエル幼稚園  
 瀬戸 栄一 高木 弘子  
 高橋 信作 瀧本 島子  
 竹内 信義 竹淵 久子  
 田尻 忠邦 田淵 創  
 茶本 博史 寺本 和泉  
 戸部 依子 豊川 雅章  
 中尾 由紀子 中島 妙子  
 中島 将雄 中野 香津子  
 鍋島 久美子 西池 フミ  
 西原 裕之  
 西村 正則・宣子  
 日本聖公会 富山聖マリア教会  
 日本聖公会 芦屋聖マルコ教会  
 日本聖公会 恵我之荘聖マタイ教会  
 日本聖公会 大阪教区婦人会

日本聖公会 大阪教区連合男子会  
 日本聖公会 大阪聖愛教会  
 日本聖公会 大阪聖アンデレ教会  
 日本聖公会 大阪聖パウロ教会 パウロ会  
 日本聖公会 大阪聖ヨハネ教会  
 日本聖公会 大阪聖ヨハネ教会  
 日本聖公会 大阪聖ヨハネ教会女性の会  
 日本聖公会 堺聖テモテ教会女性の会  
 日本聖公会 高槻聖マリヤ教会  
 日本聖公会 マリヤ会有志  
 日本聖公会 西宮聖ペテロ教会  
 日本聖公会 西宮聖ヤコブ教会  
 日本聖公会 宮古聖オーガスティン教会  
 守口聖オーガスティン教会  
 丹羽 なほみ  
 野知 卓司・千秋  
 梅花幼稚園 橋本 安代  
 橋本 暁子 橋本 正樹  
 畑 豊子 林  
 原 郁子  
 ヒラオカ ヤスヒロ  
 平賀てる子 福永芽久美  
 藤岡 重子 藤村 博昭  
 藤幼稚園  
 古本純一郎  
 平安女学院大学 学生・職員有志  
 細江 和代 細川 信子  
 堀 貴美子 堀江 信一  
 松尾 正実 松下 一郎

松平 功・恵津子  
 三木 靖一 水貝 勝  
 水畑 裕美 三森 尚子  
 宮脇 弘次 宗像千代子  
 本井 栄子 森 一太  
 森中 央  
 八尾 恵三・恵子  
 藪内 正巳・清子 万喜子  
 山下 政博・和美  
 山田 幸子  
 淀川食品株式会社  
 米満 司郎  
 一八〇件、二四六、四〇二円



2022年度  
 (2022年4月1日～2023年3月31日)  
 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会  
 会計報告

■2022年度 後援会寄附金	
後援会会費	113件 ¥452,000
一般寄附金	29件 ¥206,051
クリスマス寄附金	38件 ¥588,350
合計	180件 ¥1,246,401
■2022年度 本部寄附金	
一般寄附金	21件 ¥654,250
クリスマス寄附金	17件 ¥438,750
合計	38件 ¥1,093,000
総合計(後援会寄附金、本部寄附金) ¥2,339,401	

上記金額を、聖ヨハネ学園本部会計の寄附金収入に繰り入れました。

### 後援会《入会要項》

**年間会費**  
 1) 個人会費 1口 2,000円  
 2) 団体・法人会員 1口 10,000円  
 いずれも、何口でもよろしくお願ひします。

**入会方法**  
 振り替え用紙でご送金いただくだけでも  
 会員登録させていただきます。  
 郵便振替口座=00910-5-5789  
 加入者名=(社福)聖ヨハネ学園

**寄附控除**  
 ご寄附は次の法律により税法上の優遇措置が受けられます。  
 所得税法第78条第2項第3号該当  
 法人税法第37条第3項及び第4項第3号該当

「後援会だより」④  
 ●発行 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会  
 〒五六九一〇三二 高槻市宮之川原二一九一  
 ●電話・ファックス (〇七二) 六八七〇五四八